

〔奥山へ押し戻す〕

- 人里周辺で捕獲圧を強化 ⇒ 低密度化、警戒心の植付
- ヒグマ捕獲従事者の育成 ⇒ 捕獲技術の伝承

【目的】

近年、人への警戒心の薄いヒグマが人里に出沒している状況が見られ、また、ヒグマ出沒時に出動する熟練した捕獲従事者の減少・高齢化により、ヒグマに対応できる人材の確保が課題となっている。

これらの課題に対応するため、比較的安全に捕獲圧をかけることができる**残雪期**に許可捕獲を行い、**人里周辺に生息・繁殖する個体の低密度化**を図り**人への警戒心を持たせる**ことで、**人里への出沒を抑制**するとともに、**ヒグマ対策に必要な人材の育成**を図る。

【概要】

- 許可申請者 市町村を基本(地元狩猟者は関係機関の合意が得られている場合に限定)
- 捕獲期間 2～5月(残雪期)
- 捕獲区域
 - ・市町村の区域を基本(複数市町村で共同して広域的に実施することを推奨)
 - ・**人里出沒抑制を積極的に行う場合は、許可申請時に「人里に隣接した区域」を示した図面を添付**

<人里に隣接した区域の考え方>

市街地・集落もしくは農耕地など(レクリエーション等で人が日常的に利用する森林を含む)人の**生活圏から概ね5kmを目安とし、地域の実情に応じて最大10km以内のエリア**

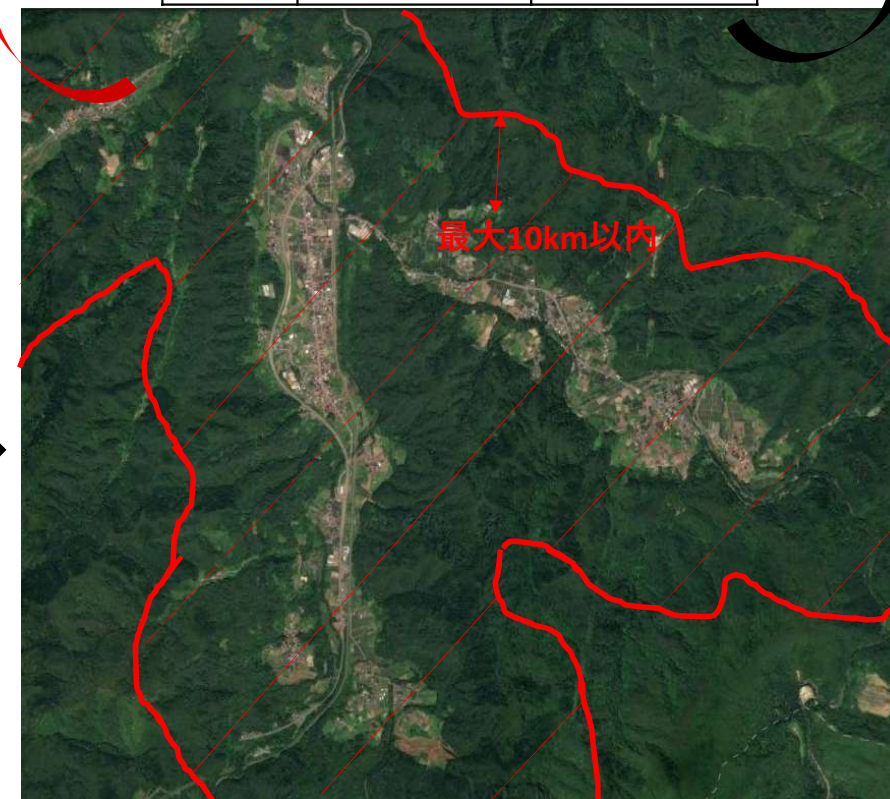
- 捕獲頭数 地域個体群毎に**上限捕獲頭数を管理**
- 捕獲方法 **銃器**
- 報告
 - ・捕獲した場合は、ヒグマ捕獲票を直ちに提出すること
 - ・捕獲期間終了後、速やかに出動日報を提出すること
- 捕獲にあたっての協力事項
 - ・試料の提出に協力すること
- その他
 - ・人里への出沒状況の変化について、効果の検証を行う

〔イメージ〕

人里隣接区域
生活圏から
概ね5kmを目安
最大10km以内

	人里隣接区域	奥山
目的	出沒抑制+人材育成	人材育成
穴狩り	○	×(禁止)
親子づれ	○	×(自粛)
従事者	・ベテラン同士 ・ベテランと経験浅いハンターの組み合わせ	ベテランと経験浅いハンターの組み合わせ

奥山



財政支援

〔春期管理捕獲強化の支援事業(令和5年度補正予算 15,000千円)〕

- 概要 : 人里への多発する出沒を抑制、捕獲従事者の育成を行うため、市町村が行う春期管理捕獲の実施に要する経費を支援
- 補助対象者 : 市町村
- 対象経費 : 市町村が負担する春期管理捕獲の実施に要する経費
 - ・ 出動や捕獲に応じた捕獲従事者への報奨経費
 - ・ 事前研修や指導者派遣に要する経費
 - ・ 資材購入経費(燃料代、弾代、処分費、スノーシュー、借用車、クマよけスプレー等)等
- 補助率 : 1/2以内
- 対象期間 : 令和6年2月～3月
- その他 : 予算の範囲内の支援